

「本校が目指す姿」

1 学校の現状や課題

令和3年4月に能代工業高校、能代西高校が統合し開校した学校である。基本理念として、「生徒の社会的・職業的自立を目指すとともに、身に付けた技術や技能によって地域産業を担い、地域に貢献する人材を育成する」ことを掲げている。

これまで地域の工業界・農業界を支えてきた能代工業高校と能代西高校の教育活動を継承しながら、ICT、再生可能エネルギー等の工業技術の発展や、農業の6次産業化、農と食の福祉分野への応用などの基盤となる知識・技術とともに、ロボット技術やICTを活用したスマート農業、植物工場などの工業と農業の融合を進めていく科学的な思考力を備えた、地域を支える人材を育成したい。

秋田県では初となる工業と農業の学科をもつ専門高校であり、学科間連携を強化し、学科の教育力を全校の教育力とするための工夫が課題である。

2 学校を取り巻く将来の状況の予測

(1) 能代山本地区中学校卒業者の状況

少子化が一層進む能代山本地区においては、本校で身に付けた技術や技能によって、地域産業を担い、地域に貢献する人材が一層望まれる。

令和3年3月	525	▲38	(高1)
令和4年3月	574	+49	(中3)
令和5年3月	518	▲56	(中2)
令和6年3月	523	+5	(中1)
令和7年3月	480	▲43	(小6)



(2) 経済情勢

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、世界経済の縮小傾向が見られるが、そのような中でも、本校生徒が希望進路を達成できるよう、あらゆる対策を講じる必要がある。

(3) 技術革新

IoT、ロボット、人工知能(AI)、ビッグデータといった社会のあり方に影響を及ぼす新たな技術の進展が進んでおり、本校においてもSociety 5.0とも呼ばれる新たな社会に対応できる人材の育成を図ることが求められている。

3 スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）

本校は、生徒の社会的・職業的自立を目指すとともに、身に付けた技術や技能によって地域産業を担い、地域に貢献する人材の育成を図るために、教育活動を通して次の資質・能力を育成します。

- ・将来、技術革新と社会の変化に主体的かつ柔軟に対応する資質・能力を育成します。
- ・専門的な知識や技術、技能を身に付け、地域活動に積極的に関わることで、地域産業の発展に貢献できる資質・能力を育成します。
- ・豊かな心を持ち、将来、自立した社会人として地域社会で責任を果すことができる資質・能力を育成します。

(2) カリキュラム・ポリシー（本校の学び）

【専門教育の充実】

- ・各学科で専門性を高めるカリキュラムを編成します。また、地域企業等と連携した専門的な講座、インターンシップ、現場見学、スマート農業実習等を実施することで、確かな技術と高い倫理観を備えた職業人を育成します。

【幅広い教養を身に付ける】

- ・普通教科の充実を図り、将来職業人として求められる幅広い教養が身に付くカリキュラムを編成します。また、科学的な視点と思考力、ICT活用能力を高める授業を全ての教科・科目で実施します。

【自己有用感、自己肯定感を育む】

- ・本校の教育活動全体を通して、思いやりの心をもって他者と学びあい、高め合い、認め合うことで自己有用感、自己肯定感を育みます。そのため授業や学校行事を通して、望ましいコミュニケーション能力を育成します。

(3) アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

「工業科」

工業の各学科では、新しい時代に対応するため、創造的なものづくりと、科学的な視点を生かした課題解決に取り組む資質・能力の育成を重視しています。

以上のことから、次の①～③に当てはまる生徒を求めます。

- ①技術革新と社会の変化に主体的かつ柔軟に対応しようとする意欲のある生徒。
- ②工業に関する知識と技術の習得や資格取得に強い意欲をもつ生徒。
- ③生徒会活動、部活動、ボランティア活動等に積極的に取り組み、入学後も自ら目標を設定して、努力できる生徒。

「農業科」

農業の各学科では、新しい時代に対応するため、安全な食料供給やヒューマンサービスの拡大等に対応できる人材の育成と、科学的な視点を生かした課題解決に取り組む資質・能力の育成を重視しています。

以上のことから、次の①～③に当てはまる生徒を求めます。

- ①技術革新から生まれる新たな農業産業の変化に主体的にかつ柔軟に対応しようとする意欲のある生徒。
- ②農業や生活福祉に関する知識と技術の習得や資格取得に強い意欲をもつ生徒。
- ③生徒会活動、部活動、ボランティア活動等に積極的に取り組み、入学後も自ら目標を設定して、努力できる生徒。

「5年間を通しての具体的な目標と取組」

1 5年間を通しての具体的な目標

(1) 進路目標の達成

- | | |
|----------|-------|
| ①県内就職割合 | 70%以上 |
| ②希望進路達成率 | 100% |

(2) 資格取得の奨励

卒業までに各学科で目標としている資格を3種目以上取得する

- ①工業科 計算技術検定、パソコン利用技術検定に加え、各科専門の資格を1つ以上
- ②農業科 農業技術検定、ビジネス文書実務検定に加え、各科専門の資格を1つ以上

(3) 地域の行事への積極的な参加

- ①工業科 のしろ産業フェアで生徒作品等を展示し、学習内容を紹介する
- ②農業科 のしろ産業フェアや種苗交換会で花等を販売し、学習内容を紹介する

(4) 部活動等の実績

- ①東北大会出場 5つの競技やコンテスト
- ②全国大会出場 3つの競技やコンテスト

2 目標を達成するための具体的な方法、取組等

(1) キャリア教育の推進により進路目標の達成を図る

- ・キャリア教育の全体計画に基づいた指導の充実を図ります。
- ・地域企業との交流を図り、生徒や教員の地元企業での研修や、地元企業による学校見学など相互交流を活発にし、技術の向上や地元就職のきっかけとします。
- ・社会人講師による講話を実施します。
- ・県内大学等のキャンパス見学を実施します。

(2) 実践的な学びを充実させ、専門性の深化と目標資格の取得を目指す

- ・地域企業等と連携し、専門的・実践的な講座を実施します。
- ・県立大学木材高度加工研究所や県立大学との連携を確立し、知識や技術、技能の向上を図ります。
- ・技術向上の裏付けとしての「ものづくりコンテスト」での上位入賞や、農業クラブ主催の各種大会での上位入賞を目指します。
- ・各科の成果である「課題研究発表会」等を公開します。
- ・地域連携協議会「科技高フォーラム」を実施し、地域との結びつきを強固にします。
- ・能代市が主催する「担い手プロジェクト事業」に参加します。
- ・能代市が主催する「再生可能エネルギー事業」に参加します。

(3) 地域の行事等への積極的な参加を図る

- ・学んだ技術・知識を地域で活かしたボランティア活動を活発にします。
- ・「天空の不夜城」に全校生徒で参加します。
- ・地域自治体等と連携して花植え体験を実施します。
- ・そば播き、そば打ち体験を実施します。(PTA交流会)
- ・ボランティア活動等を実施します。



(4) 部活動への積極的な参加を推進する

- ・幅広い部活動の活躍をさらにバックアップします。

令和3年6月 策定

令和5年6月 一部改訂